

会社情報／株式情報

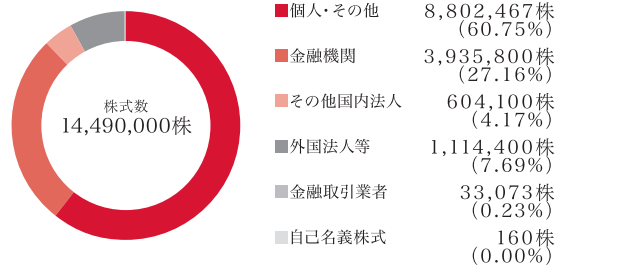
会 社 概 要		
(2017年8月31日現在)		
商 号	株式会社SHIFT	
代 表 者	代表取締役社長 丹下 大	
本 社	〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39MTビル TEL：03-6809-1165	
設 立	2005年9月	
資 本 金	578百万円	
事 業 内 容	ソフトウェアの品質保証、テスト事業	
取 得 特 許	特許第5787404号 コンピュータプログラムのテスト仕様を生成 するための装置およびプログラム	
役 員 (2017年11月24日現在)		
代表取締役社長	丹 下	大
取締役副社長	松 尾	茂
取 締 役	小 林	元 也
取 締 役	鈴 木	修
取 締 役	中 垣	徹 二 郎
常 勤 監 査 役	三 浦	進
監査役(非常勤)	木 呂 子	義 之
監査役(非常勤)	松 井	勝 之

(注) 中垣徹二郎は、社外取締役であります。
(注) 三浦進、木呂子義之及び松井勝之は、社外監査役であります。

株 主 メ モ			
事 業 年 度	9月1日から8月31日まで	郵 便 物 送 付 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒 137-8081 新東京郵便局私書箱 第29号
定 時 株 主 総 会	毎年11月	電 話 照 会 先	0120-232-711（フリーダイヤル）
基 準 日	8月31日	公 告 掲 載 方 法	当社ホームページに記載しております。 http://shiftinc.jp
剰余金の配当の基準日	8月31日及び2月28日 （閏年においては2月29日）		
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号		

株 式 の 状 況（2017年8月31日現在）			
発行可能株式総数		50,000,000株	
発行済株式の総数		14,490,000株	
株 主 数		2,290名	
上位10名の株主			
株 主 名		持株数(株)	持株比率(%)
丹下 大		6,759,500	46.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)		1,683,200	11.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)		1,110,900	7.67
Draper Nexus Technology Partners, LP		654,000	4.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)		574,000	3.96
野村信託銀行株式会社(投信口)		170,000	1.17
株式会社ワークスアプリケーションズ		167,000	1.15
シンプレクス株式会社		167,000	1.15
エクイニクス・ジャパン・エンタープライズ株式会社		167,000	1.15
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)		137,500	0.95

株式分布の状況



「無駄をなくしたスマートな社会の実現」へ
SHIFTが見つめる
未来と戦略

ここが
ポイント！
進む経営体制の強化
業績推移に見える、
SHIFTの進化
SHIFTが目指す、
スマートな社会への歩み



BUSINESS REPORT
2017年 8月期

2016年9月1日～2017年8月31日
証券コード:3697

株主の皆様へ

顧客のビジネスを変革し、無駄をなくした
スマートな社会の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社2017年8月期
(2016年9月1日～2017年8月31日)のビジネスレポートをお届けいたします。



2017年8月期を振り返って

「SHIFT'100」の最終年度と位置付けた2017年8月期は、大きな市場規模を持つ金融領域と流通領域を注力領域とし、それぞれの市場での顧客拡大、そしてさらなる成長を加速させるため、各領域に精通した高い知見を持った人材（ハイスキル人材）獲得のための投資を進めてまいりました。第2四半期には、受注環境が堅調な中、人材獲得へ向けた投資を優先し業績予想に対する下方修正を発表し、多くの株主の皆様にご迷惑とご心配をお掛けいたしました。

結果として、42人のハイスキル人材が弊社へ新しく参画し、彼らを基軸に大きなチャンスが生まれ、下期より業績としてご確認いただける成果を出すことができました。変わらず弊社の将来性を信じ、応援し続けてくださいましたこと、心より御礼申し上げます。

引き続き、成長し続けるための戦略的投資は推進してまいり所存ではございますが、同時に2017年3月に取締役副社長として入社した松尾を中心に、経営管理体制も強化し攻守ともに強い企業を目指してまいります。

2018年8月期の取り組み

新たな成長戦略として掲げる、「SHIFT'300」を始動する2018年8月期は、2017年度に引き続き、日本を牽引する各業界のトップ企業との関係強化を推進、エンタープライズ領域における加速的な認知度向上とシェア拡大に注力してまいります。

また、長期的な成長を視野に入れた施策として、従来SHIFTで保有するデータと知見に加え、品質に関わる「人」「物」「案件」の情報をさらに蓄積・分析し、IT業界へ向けた新たな価値創造の第一歩を目指してまいります。

品質をベースに、SHIFTでしか得ることの出来ない様々なデータや知見をもとに、顧客のビジネスを変革し、無駄をなくしたスマートな社会の実現を目指してまいります。

皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 丹下 大

私の信条は「大胆かつ慎重に」であり、信念は「逃げない、裏切らない」です。



今年3月に取締役副社長として就任しました松尾茂と申します。

前職は富士通株式会社および日本電産株式会社にて、一貫して経理・財務畑での約30年の経験を積んでまいりました。

その中で社会インフラを担う大企業としての分厚い仕組みやカリスマ経営者のもとで勝つ経営の仕掛けを学んでまいりました。それら経験の全てをぶつけ、日本発の世界的な社会インフラを担う企業を作り上げようと代表丹下と固く誓い、入社いたしました。

大きく伸びる企業には成長へ向けた黄金律というものがあります。それは「ブルーオーシャンマーケット」と「諦めない経営者」、そして夢を形にする「経営管理」です。SHIFTにはこの「経営管理」の仕組みが必要であり、私の経験が加わることで成長のスピードが加速するものと考えております。

「経営管理」とは一言で言えば、会社に良い変化をもたらす仕組みです。これは社員が普遍的なコンセプトのもとで具体的な目標を持ち、常に自分の仕事、昨日より今日、今日より明日と前に進んでいるか

を自問自答しながら取り組むことになります。それにより自らの力が大きく向上し、会社の売上・利益に繋がることで株主の皆様の期待に沿えることになると考えております。

SHIFTの目指す姿は「ソフトウェアテスト」から「品質保証」、そして世の中の無駄をなくし、世界中の人々が限られた資源の中で豊かな生活、充実した人生を送ることができるようになる「スマートな社会の実現」を後押しすることです。

こうしたコンセプトのもと、今期及び中期の目標を達成するため「経営管理」を実践して参ります。私の信条は「大胆かつ慎重に」であり、信念は「逃げない、裏切らない」です。新たな挑戦となりますが、経営陣として出来ることはすべて取り組んでいく所存でございます。

何卒、SHIFTの成長へのチャレンジにつき、ご理解をいただきたく、宜しく願い申し上げます。

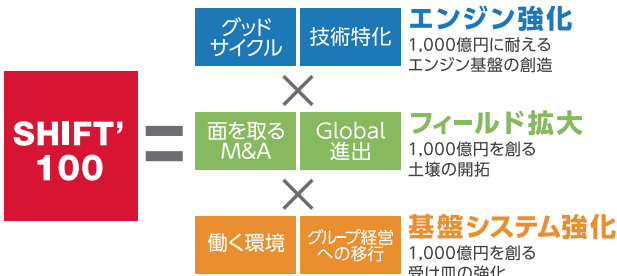
取締役副社長 松尾 茂

売上高100億円を達成するための成長戦略「SHIFT'100 -シフトワンハンドレッド」
SHIFTグループとして、売上高1,000億円の企業規模に耐えうる礎を築き、2017年度8

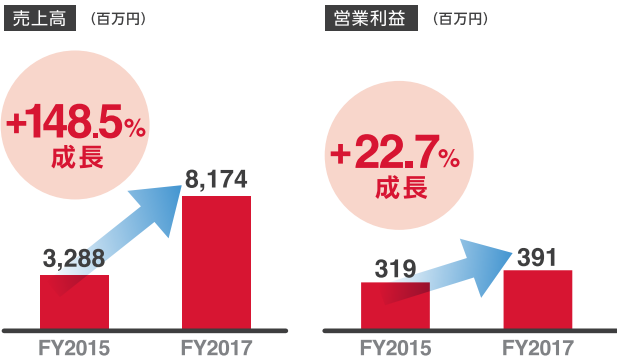
月期をもって完了。次の目標へチャレンジを続けてまいります。

SHIFT'100

売上高1,000億円の規模に耐えうる企業基盤を創るための
売上高100億円を達成する取り組みとして掲げた成長戦略。
グループとして成長するためのSHIFT単体強化を主として
策定、実施してまいりました。



2年間の成果

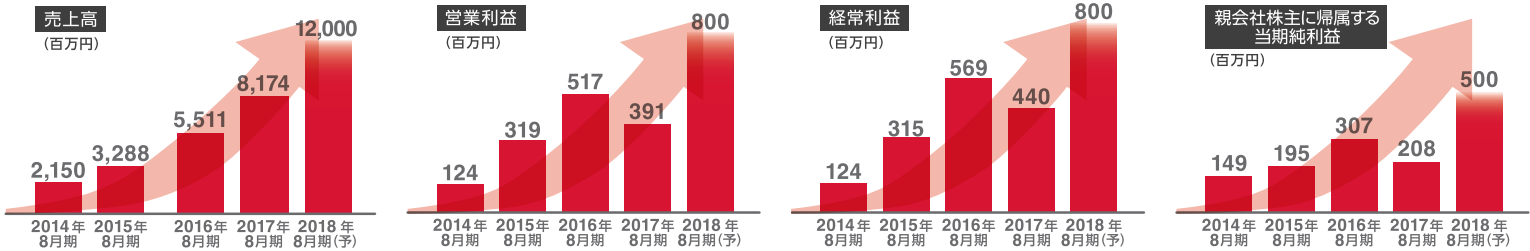


業績ハイライト

2017年8月期は、上期において、戦略的投資が先行し利益率を大きく下げつつ、下期より投資回収フェーズへ入ることができました。金融、流通領域における受注拡大が進み、第4四半期につきましては売上高、売上総利益、営業利益ともに四半期過去最高値を達成いたしました。

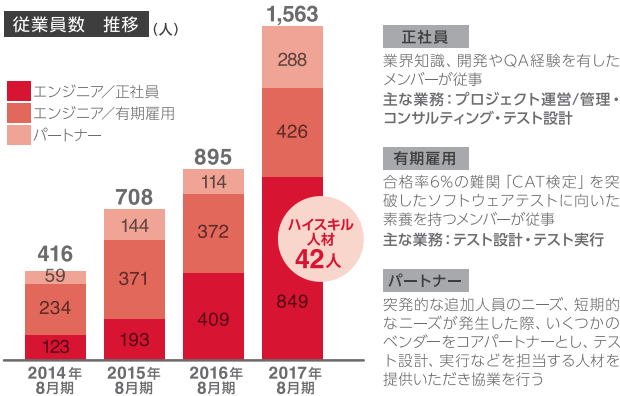
決算のポイント

- 重点注力領域とする **金融、流通領域におけるトッププレイヤーとの関係構築と強化**による受注規模拡大が売上高の成長を牽引。
- 本年度上期を中心に採用を進めた **ハイスキル人材** が大手事業会社との新規取引の開始に大きく貢献し、**下期より投資回収フェーズへ移行**。
- 下期に取り組んだ、**経営管理体制の構築が収益性の向上に貢献**。
継続的な取り組みとして、更なる管理体制の強化と、積極的な財務戦略を推進。



2018年8月期の見通し

- **上期: 1,000億円へ向けた戦略的投資を継続**
 - ・エンタープライズ領域を中心としたグループ各社の更なる存在感向上により、引き続き、売上高の大幅な成長を計画
 - ・人材採用などへの戦略的投資を続けながら収益性の改善を促進
- **下期: 売上高の加速的な伸びと収益性改善活動による利益向上**
 - ・大型顧客の受注を狙い、売上高の大幅な飛躍を計画
 - ・売上高の拡大や、収益改善の取り組みを開花させ、利益率の向上を計画



	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	対前年比	百万円	対前年比	百万円	対前年比	百万円	対前年比
第2四半期累計	5,400	+ 59.0%	300	+ 303.0%	290	+ 195.3%	180	+ 563.9%
通期	12,000	+ 46.8%	800	+ 104.4%	800	+ 81.6%	500	+ 139.6%

(%表示は、通期は対前年、四半期は対前年同四半期増減率)

業務改善コンサルティングから始まったSHIFTは、各事業フェーズにおいてソフトウェア開発業界により“変革”をもたらすべく、活動してまいりました。引き続き、世界No.1の品質保証専門企業を目指しながら、ソフトウェア開発業界のみならず、広く社会に向けた我々の企業価値を追求してまいります。

単位：億円

1,000

800

600

400

200

0

世界No.1の品質保証専門企業へ

SHIFTの安心・安全をグローバルへ提供

【SHIFT' 300】グループ経営の最適化を推進し、品質保証におけるトータルサービスの確立と国内主要企業の開拓を推進

売上高
1,000億円

売上高
300億円

現 グローバル
最大手企業実績

SHIFT実績

2005

2009 2010

2015

2020

2025 (年)

コンサルティング業

ソフトウェアテスト業

品質保証業

新たな「業」を企てる

●業務プロセスを変革

ソフトウェア開発分野における
属人化した業務プロセスを改善
▶大手ECサイトにおけるテスト部門の
コンサルティングをきっかけに
「ソフトウェアテスト」に出会う

●エンジニアの働き方を変革

“餅は餅屋”⇒開発エンジニアと
テストエンジニアの分業化
▶テスト事業の本格立上げに向けCAT※1、CAT検定※2を開発
▶顧客は新興企業を中心にサービス立上げ、Sler、
開発会社へ拡大

●顧客のビジネススピードを変革

SHIFTに蓄積され たデータをもとに、
開発工程全体の 無駄を改善
▶大手事業会社、ユ ーザー企業との直接取引を積極推進
▶市場規模の大きい 金融、流通領域へ進出

●世の中を変革

安心・安全・快適で、無駄をなくしたスマートな社会の実現に向け、
「品質」の観点から多角的なサービス展開を目指す

無駄をなくしたスマートな社会の実現

SHIFTだからこそ得ることができるIT業界における「人」「物」「案件」情報やデータを活用し、「品質」の観点からスマートな社会の実現へ向けたプラットフォームを構築

⇒社会インフラを目指す



売上高
300億円

売上高
1,000億円

売上高
1兆円

FY202X プラットフォーム活性により1,000億への成長準備

FY2019 成長のさらなる加速に向けた基盤強化

FY2018 SHIFT' 100 を昇華させ顧客・サービス・人材を強化

※1 CAT: ソフトウェアテスト支援ツール。[Computer Aided Test] の略。従来、エクセルで行っていたテスト実行、テスト進捗管理をクラウド化し、リアルタイムでのプロジェクト状況の確認を可能にする。また、SHIFTで実施したあらゆるソフトウェアテストの不具合情報、開発情報、その他関連情報がすべて蓄積される。
※2 CAT検定: ソフトウェアテストにおける素養をはかる、SHIFT独自の入社試験。開発エンジニアと品質保証エンジニアは異なる能力を要すると考え、IT業界ではなく国内における全就業人口を対象とした人材採用を行う。合格率は6%。(2017年8月現在)